

アフリカから BONJOUR!



皆さんこんにちは、協力隊員の金盛です。
今年も残り僅かですが、いかがお過ごしでしょうか。
今回は私がお世話になっている道場の指導者、ISSA（イッサ）氏にお話を伺ってみました。
日頃感じている事やこれからの展望、改めて聞いてみた事で彼らとの距離がより一層近くな
った気がします。 協力隊員に対して非常に理解のある方です。



—では宜しくお願ひします。まず、いつから柔道を始めましたか。
ISSA 氏 「1987年、当時は学生で18歳だったね。柔道と空手、テコンドーが選択肢にあ
り私は柔道を選んだんだ。」

—当時の練習環境を教えてください。
I 「私が習っていた道場は週3回の稽古、時間は1時間30分程だったね。
人数も大人が20人位で、子どもは数人だったかな。」

—1979年に日本人柔道家が来られ2年間指導されましたが、その時はいなかったのですね。
I 「そう、もう少し早く始めるべきだったと思うよ。」



—現在はこの道場の指導者ですが・・・

I 「この道場が始まったのは2007年でまだ
新しいんだ。私は指導を任せられ最初は少人
数だったけど今では道場が狭く感じる程、
生徒が増えてきて、道場も広く改築しない
といけないね。」

—確かに。先日の練習は大人数集まり、道
場のスペースがなくて大変でした。



大勢の生徒達と。

—日本から私たち協力隊や柔道指導者が来られていますが、変化はありましたか。

Ⅰ「1979年頃は選手のレベル、競技人口が増えたけど、その後しばらくは減少の一途を辿ったんだ。近年協力隊が来てくれて大会の結果、競技人口も再び増えてきた。だから日本の柔道家には、これからもガボンに来て色々教えてほしいと思っている。」

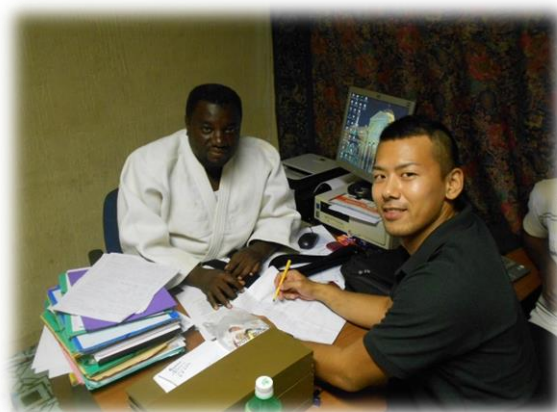


ガボン人は写真好きです。稽古後、生徒と現地の日本人柔道家と。

—ありがとうございます。私も後任要請を出しますので今後続く方がきっと現れると思います。では最後に、今後の目標をお聞かせください。

Ⅰ「柔道選手が一箇所に集まれる施設をつくろうと思っている。（設計図を見せて）ここに宿泊場、柔道場、トレーニング室などを添えて代表選手の稽古場、また才能のある選手を集めて練習させるんだ。

日本では学校でも柔道を教えているんだらう？ 是非ガボンでもそうさせたいね。」



—Merci beaucoup Issa !
(Issa 氏、ありがとうございました。)

活動を振り返り、一年半が経ちましたが、今ようやく足場が固まってきた気がします。残りは6ヶ月、隊員生活は時間の経過を早く感じます。

来年も実りのある一年になりますように。皆さん、Bonne année !

(よいお年を！)

お知らせ
自分の活動が番組で紹介される事になりました。
お時間のある方は是非ご覧ください！

テレビ東京「佐藤隆太の地球元気！」

◆ #33 「ガボン柔道にメダルを」
本放送：1月17日（金）21時54分～（4分） テレビ東京
再放送：1月18日（土）12時25分～ テレビ東京系列



2013年12月24日